

広報

Ako City
Public
Relations

あこ

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて



塩屋荒神社の秋祭り（上段）
坂越大避神社の秋祭り（下段：左）
赤穂八幡宮の秋祭り（下段：右）

'18
財政特集号
平成29年度
決算
平成30年11月12日発行

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて

平成29年度は、「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現を目指し、市政の5本柱である

- 【安心】 安全・安心に生活できるまち
- 【快適】 自然と共生する住みよいまち
- 【にぎわい】 産業と交流が盛んな活力のあるまち
- 【学び】 生涯にわたり夢を育むまち
- 【連携】 市民と行政がともに歩むまち

を着実に推進し、厳しい財政環境の中、人口減少社会においても特色ある地方創生への取組を総合的に推進するため、個々の事務事業における費用対効果、必要性、優先順位の検討、選択と集中及びその検証を行い、財源の充実確保と行財政の健全運営に留意しながら、市民福祉の増進に努め、誰もが希望と誇りをもって住み続けたいと思えるまちづくりを推進しました。

平成29年度の市の財政状況は、歳入において、事務事業の実施に伴う国庫支出金等の特定財源の確保に努める一方で、地方交付税や財政調整基金繰入金の減に加え、前年度繰越金の大幅な減により、歳入総額は減となりま

した。

一方歳出では、財政調整基金積立金の減や、幼稚園舎改築事業の完了に伴い投資的経費が減少したことにより、歳出総額は減となりました。

また、財政構造の健全化を図るため、事務経費の一層の節減を行うなど、簡素でより効率的な財政運営に努めるとともに、「第7次赤穂市行政改革大綱」に基づき、中長期的な視点に立った取組を行いました。



子どもたちの笑顔を集めました。運動会やお祭り、課外授業など、市内のあちこちに子どもたちの笑顔が輝いています！

広報あこう '18財政特集号 平成29年度決算 目次

- 3 「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて
- 4 各会計別決算状況
- 5 一般会計決算
- 7 財政分析
- 8 市債・基金・債務負担行為の状況
- 9 赤穂市の家計簿
- 10 病院事業の決算
- 12 水道事業の決算
- 14 介護老人保健施設事業の決算
- 15 平成30年度予算上半期の状況
- 16 写真で見る決算

1 一般会計決算



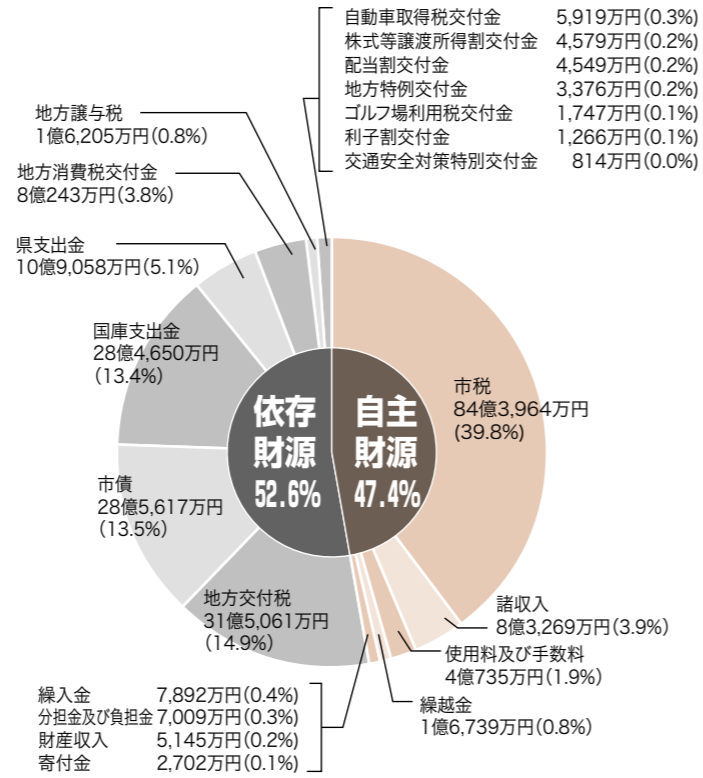
市の会計の中心をなす一般会計の決算収支は、歳入が212億539万円、歳出が210億6,183万円で、歳入・歳出の差引き額から翌年度に繰り越すこととなった財源を差引きした実質収支は1億4,286万円となりました。

歳入決算は、前年度と比べ3.9%の減少となりました。主な特徴として、財政調整基金繰入金の減により繰入金が62.2%の減、繰越金の63.9%の減に加え、幼稚園整備事業債の減により市債が8.7%の減となっています。

市税など市が自身で収入することができる財源(自主財源)の歳入全体に占める割合は、前年度比1.1ポイント減少して47.4%となっています。多様な行政サービスを提供していくうえで、この割合が高いほどより自主的かつ安定した事業を展開することができます。

歳入総額
212億539万円

自主財源 **100億7,455万円** (47.4%)
依存財源 **111億3,084万円** (52.6%)



(※) 土地区画整理事業、公園施設整備事業などの市街化区域内の事業の財源となっています。

各会計別決算状況

(1万円未満四捨五入)

会計区分	歳入			歳出			
	29年度	28年度	伸び率%	29年度	28年度	伸び率%	
一般会計	212億 539万円	220億 7,567万円	△ 3.9	210億 6,183万円	219億 828万円	△ 3.9	
特別会計	国民健康保険事業	64億 8,963万円	64億 2,176万円	1.1	61億 9,696万円	63億 4,695万円	△ 2.4
	職員退職手当管理	4億 8,410万円	6億 3,675万円	△ 24.0	4億 8,409万円	6億 3,675万円	△ 24.0
	公共下水道事業	37億 2,103万円	34億 1,189万円	9.1	28億 1,428万円	34億 1,189万円	△ 17.5
	農業集落排水事業	2億 8,526万円	2億 9,186万円	△ 2.3	2億 8,341万円	2億 9,186万円	△ 2.9
	墓地公園整備事業	498万円	541万円	△ 7.9	498万円	541万円	△ 7.9
	介護保険	43億 899万円	40億 9,920万円	5.1	41億 8,203万円	39億 7,798万円	5.1
	駐車場事業	1億 3,582万円	1億 2,217万円	11.2	1億 3,582万円	1億 2,217万円	11.2
	後期高齢者医療保険	7億 1,845万円	6億 9,071万円	4.0	7億 462万円	6億 7,513万円	4.4
	小計	161億 4,826万円	156億 7,975万円	3.0	148億 619万円	154億 6,814万円	△ 4.3
	企業会計	病院事業	121億 5,067万円	105億 3,947万円	15.3	128億 4,733万円	122億 4,478万円
介護老人保健施設事業		3億 1,499万円	3億 2,214万円	△ 2.2	3億 6,293万円	3億 6,564万円	△ 0.7
水道事業		15億 2,517万円	14億 8,079万円	3.0	16億 8,405万円	18億 8,081万円	△ 10.5
小計	139億 9,083万円	123億 4,240万円	13.4	148億 9,431万円	144億 9,123万円	2.8	
合計	513億 4,448万円	500億 9,782万円	2.5	507億 6,233万円	518億 6,765万円	△ 2.1	

(注：企業会計には消費税額を含む)

平成29年度市民1人当たりの決算額 **1,053,663円**

※平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口48,177人で計算したものです。

一般会計 **437,176円** 特別会計・企業会計 **616,487円**



2 財政分析

市の財政の状態を分析するうえで用いられる指数及び比率には、次のようなものがあります。

①財政力指数(3カ年平均)

地方公共団体の財政力を示す指数として用いられ、1を超えるほど財源に余裕があるとされています。

	29年度(H27~H29)	28年度(H26~H28)
赤穂市	0.725	0.725
県平均	0.744	0.741
県内市平均(神戸市除く)	0.744	0.738

③市債・基金1人当たり現在高(普通会計ベース)

家庭では、家を建てるときや車を買うときに借り入れる「ローン」にあたる「市債現在高」と「貯金」にあたる「基金現在高」を人口1人当たりに直すと以下のとおりです。

	市債現在高(借金)	基金現在高(貯金)
赤穂市	630,840円	91,766円
県内市平均	506,512円	78,184円

※県内市平均は、平成30年1月1日現在の住民基本台帳人口で計算しています。

②経常収支比率(普通会計ベース)

人件費や公債費など、経常的に支出しなければならない経費に充てられた一般財源の経常一般財源(毎年経常的に収入され、用途を特定されないお金)総額に対する割合を、経常収支比率といいます。

この比率が高いほど自由に使えるお金の割合が少なく、道路や公園の整備をはじめ、市民の新しいニーズにこたえていく余力がなくなっていることを意味します。

	29年度	28年度
赤穂市	90.2	90.2
県平均	95.2	94.0
県内市平均(神戸市除く)	93.6	92.8



財政健全化判断比率

1 実質赤字比率

標準財政規模(市税などの一般財源の標準規模)等に対する、実質赤字額の比率です。

2 連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての赤字の程度を示します。

3 実質公債費比率(3カ年平均)

標準財政規模等に対する、市が借り入れた借金(市債)の返済費用である公債費や、病院事業・下水道事業などの公営企業会計に対して公債費の補てんのために支出した額(繰出金)の合計額の割合を表す指標で、市の実質的な借入金の負担比率を示します。18%を超えると市債の発行にあたり県の許可が必要になりますが、平成29年度決算においては9.4%となり、前年度からの増減はありません。

4 将来負担比率

病院事業・水道事業を含め、市として将来負担すべき実質的な負債の総額の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。

一般会計等の借入金(地方債)や将来払っていく可能性のある負担等の、現時点での残高を指標化しており、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示すもので、比率が低いほど財政状態が良いことを表します。

区分	1 実質赤字比率	2 連結実質赤字比率	3 実質公債費比率	4 将来負担比率
赤穂市	—	—	9.4	136.4
県平均	—	—	7.4	54.9
県内市平均(神戸市除く)	—	—	7.7	44.6
早期健全化基準	13.02	18.02	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—

実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載しています。

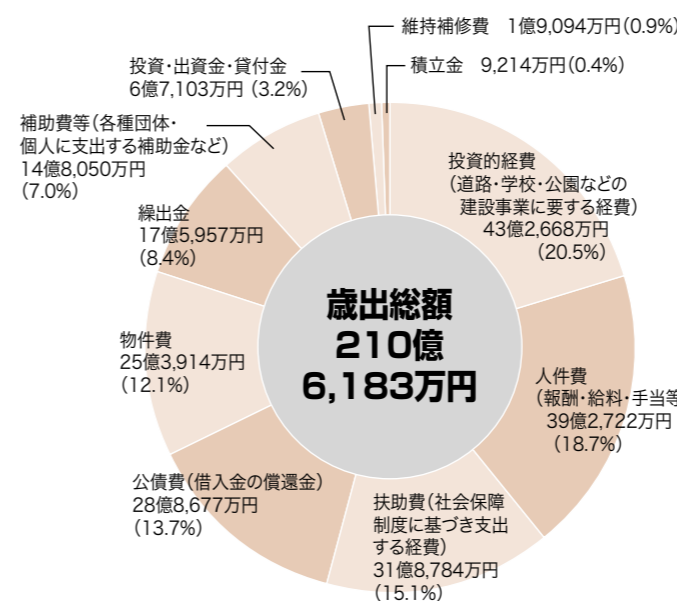


歳出決算は、前年度より3.9%の減少となりました。主な特徴として、基金積立金や高度情報化推進事業の減により総務費が20.0%の減、幼稚園舎改築事業の減により教育費が21.2%の減となっています。

道路や公園等の建設事業に要する投資的経費は、6.2%の減となりました。人件費、公債費、扶助費といった義務的に支出しなければならない経費の歳出総額に占める割合は47.5%となっています。

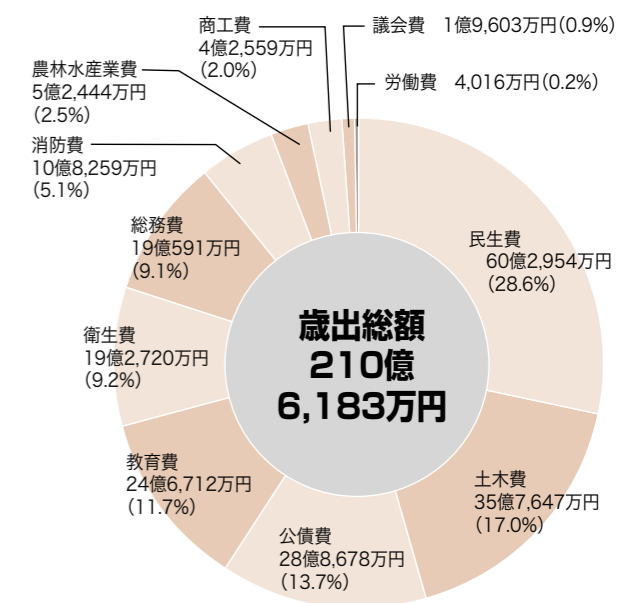
性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



目的別内訳

各行政目的別、つまり各部局ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。



市民1人当たりの決算額(目的別)



赤穂市の家計簿 ～一般会計決算を家計に例えると～

市の決算額は210億円を超える大きな額のため、このままでは実感がわきにくいものです。そこで、市の財政状況を年収500万円の家計に置き換えて表してみました。

【収 入】

赤穂市の一般会計決算（平成29年度決算）		赤穂市の家計簿		
		収 入 項 目	年間収入	1ヵ月の収入
自主財源	市税、使用料手数料など	99億9,563万円	給料・ボーナス	500万円
	繰入金	7,892万円	貯金の取崩し	4万円
依存財源	国県支出金、地方交付税など	82億7,467万円	親からの援助、子ども手当など	414万円
	市債	28億5,617万円	借金	143万円
収入合計		212億539万円	収入合計	1,061万円

【支 出】

赤穂市の一般会計決算（平成29年度決算）		赤穂市の家計簿		
		支 出 項 目	年間支出	1ヵ月の支出
人件費	39億2,722万円	生活費（食費）	197万円	17万円
扶助費	31億8,784万円	医療費、保育料など	160万円	13万円
公債費	28億8,677万円	ローンの返済	144万円	12万円
物件費、補助費等、投資及び出資金、貸付金など	48億8,161万円	光熱水費、電話代、消耗品、寄付金、冠婚葬祭費、交際費など	244万円	20万円
繰出金	17億5,957万円	子どもへの仕送り	88万円	7万円
積立金	9,214万円	貯金	5万円	1万円
投資的経費	43億2,668万円	自宅のリフォーム、自家用車購入など	216万円	18万円
支出合計		210億6,183万円	支出合計	1,054万円

★市債残高 304億3,300万円

★ローン残高 1,522万円（前年度1,445万円）



3 市債

住みよいまちづくりを進めるために、道路や公園、下水道などの生活環境施設や、学校などの教育施設の整備を積極的に行っていますが、単年度の市税等だけでは、これらの財源をまかないきれません。

また、これらの事業効果は後年度に及ぶものであり、後年度の世代との負担を均等にすることからも、必要な財源の一部を市債として借入れ、後年度に市税等で償還（返済）しています。

■市債の状況

区 分	28年度末 現 在 高	29年度中増減		29年度末 現 在 高
		市債借入額	元金償還額	
一 般 会 計	302億7,376万円	28億5,617万円	26億9,693万円	304億3,300万円
公共下水道事業特別会計	151億4,880万円	16億3,410万円	20億4,496万円	147億3,794万円
農業集落排水事業特別会計	16億6,216万円	4,570万円	1億9,680万円	15億1,106万円
駐車場事業特別会計	4億4,410万円		1億871万円	3億3,539万円
合 計	475億2,882万円	45億3,597万円	50億4,740万円	470億1,739万円

4 基金

事業の推進、財源調達のために必要な資金を積立てて運用する基金等の状況は、次表のとおりです。

■基金内訳（一般会計+特別会計）

基金名	現 在 高	
1 財政調整基金	23億9,609万円	
2 市債管理基金	3億5,045万円	
3 その他特定目的基金	26億3,226万円	
主なもの	（健康管理施設整備基金）	5億1,918万円
	（都市施設等整備事業基金）	3億1,618万円
	（赤穂ふるさとづくり基金）	7,570万円
合 計	53億7,880万円	

内 現 金	53億7,544万円
訳 有価証券	336万円

5 債務負担行為の状況

債務負担行為とは、後年度において支出の義務を負う行為、例えば数年度にわたる工事を一括して契約することです。平成29年度末の状況は、次表のとおりです。

■債務負担行為の状況

事業名	債務負担行為 限度額	期 間	30年度以降 支出予定額
福浦地区コミュニティセンター指定管理料	228万円	平30～平32	228万円
総合福祉会館等施設指定管理料	3,448万円	平30～平32	3,448万円
農村多目的共同利用施設指定管理料	339万円	平30～平32	339万円
土地改良施設維持管理適正化事業	253万円	平28～平32	40万円
御崎レストハウス指定管理料	1,654万円	平30～平32	1,654万円
まちづくり会館指定管理料	410万円	平30～平32	410万円
都市公園指定管理料	1億4,526万円	平30～平32	1億4,526万円
元禄スポーツセンター等指定管理料	3,160万円	平30～平32	3,160万円
民俗資料館指定管理料	1,940万円	平30～平32	1,940万円
歴史博物館指定管理料	3,894万円	平30～平32	3,894万円
海洋科学館指定管理料	3,244万円	平30～平32	3,244万円
文化会館指定管理料	1億5,600万円	平30～平32	1億5,600万円
美術工芸館指定管理料	3,056万円	平30～平32	3,056万円
市民総合体育館及び城南緑地運動施設等指定管理料	2億4,720万円	平29～平33	2億4,720万円
野外活動センター指定管理料	1,700万円	平30～平32	1,700万円

「企業会計手法による財政状況の分析」に係る財務書類につきましては、総務省より新たに示された「統一的な基準」に基づいて現在作成中ですので、掲載しておりません。

患者利用の状況

1. 診療科別一日平均患者数

【病院】

(単位：人)

区分	内科	呼吸器科	消化器内科	循環器科	小児科	外科	産婦人科
入院	43.7	0.0	46.2	47.0	3.3	26.4	5.1
外来	142.4	16.7	94.1	82.7	28.7	50.3	26.3
区分	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	整形外科	泌尿器科	放射線科	脳神経外科
入院	0.2	3.6	0.7	37.0	8.9	0.0	14.4
外来	23.6	33.4	33.7	67.4	37.6	17.1	20.3
区分	麻酔科	形成外科	心療内科	精神科	歯科口腔外科	計	
入院	0.2	1.0	0.0	0.0	1.1	238.8	
外来	9.2	11.3	10.9	0.0	23.1	728.8	

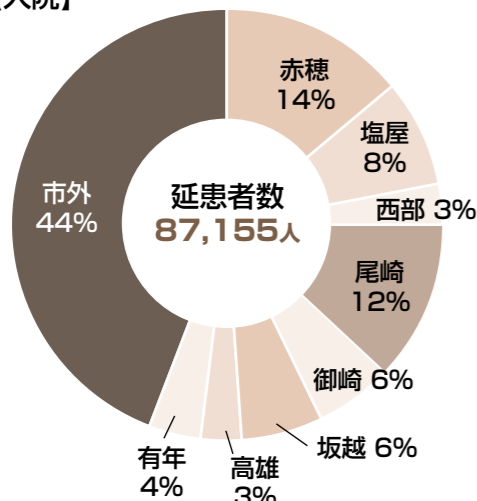
【診療所】

(単位：人)

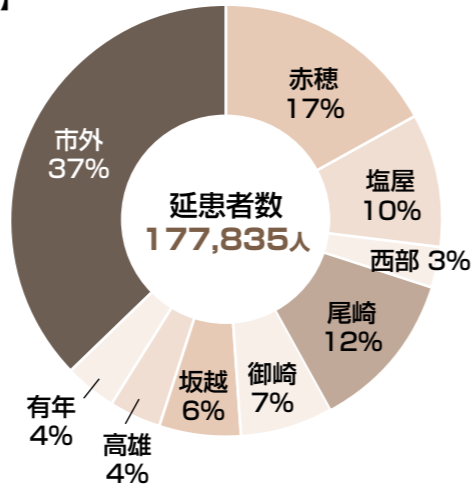
区分	高雄	福浦	有年	合計
外来	6.1	8.6	14.5	29.2

2. 地区別患者比率

【入院】

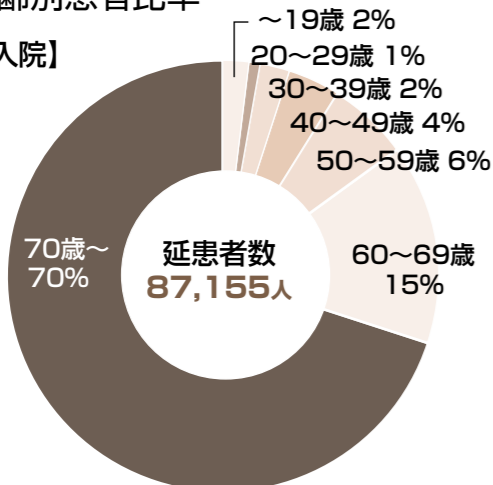


【外来】

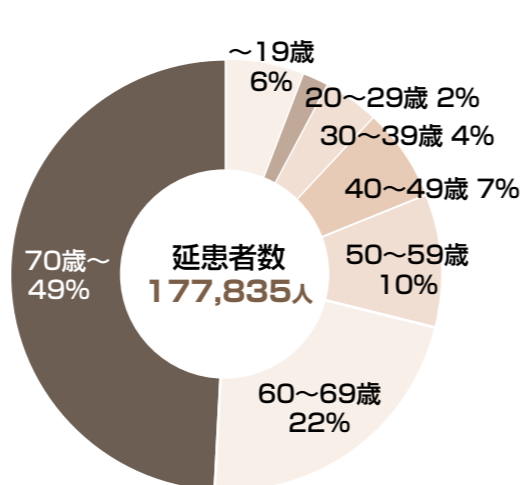


3. 年齢別患者比率

【入院】



【外来】



赤穂市民病院

AKO CITY HOSPITAL

病院事業の決算

問い合わせ先
市民病院財務課 ☎43・6421

業務の状況

平成29年度の延利用患者数は入院87,155人、外来177,835人でした。

一日平均患者数は入院239人、外来729人で、医師、看護師など総勢445人の職員で医療活動を行いました。

平成27年度に着手した「第二期基本構想」については、平成29年8月に新館をオープンし、平成30年3月には本館の改修を終え、グランドオープンの運びとなりました。新館には、健診センターを新設するとともに、透析室を増床し透析センターとして移転しました。また、本館改修により、手術室や集中治療室、緊急外来の拡充を図るとともに、外来受付ブロックの再編増設、入退院患者への支援を専門スタッフにより行う患者支援センターを新たに設置しました。

また、医療機器についても、高度医療機器であるPET-CTの導入や血管造影装置の増設等の整備を行いました。

さらに、分野を問わず医療や健康問題を身体と心の両面から診察を行う総合診療科を新設し、治療を継続していくために最適な治療法の再構築や生活面でのサ

ポートを行うことが可能となりました。一方で、産婦人科における常勤医の退職に伴い産科診療及び分娩を休止せざるを得ない状況となっています。

経理の状況

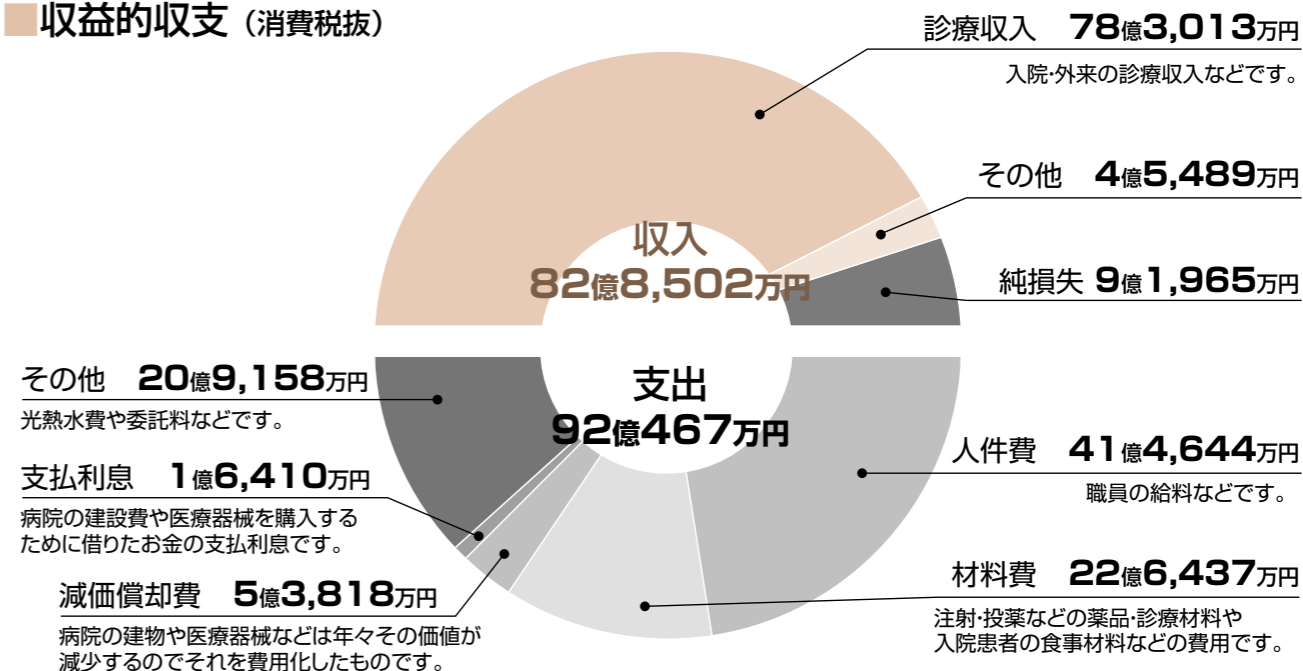
経営状況を表す収益的収支については、総収益8,285,019,133円、総費用9,204,672,235円となり、919,653,102円の赤字となりました。

資本的収支は、企業債などの収入3,840,846,017円に対し、増改築工事や医療機器整備などの支出3,677,956,308円となり、前年度財源充当額673,400,000円を除いた差額510,510,291円については、内部留保資金で補てんいたしました。

今後の病院運営

今後の病院運営については、「第2次赤穂市民病院改革プラン改訂版」に基づき、医師・看護師等医療従事者の確保に継続的に取り組み、早期の診療体制の回復に努めるとともに、新たに整備した健診センターなどの医療資源を有効に活用するほか、診療報酬の改定に適切に対応することなどにより経営の健全・安定化に取り組んでまいります。

収益的収支（消費税抜）



水道事業の決算



問い合わせ先
上下水道部総務課 ☎43・6888

また、施設の建設改良などを表す資本的収支は、企業債などの収入492,112,515円に対し、改良工事などの支出が785,248,944円となり、その不足額293,136,429円は、内部留保資金で補てんしました。

今後の水道事業経営

水道事業の経営については、人口の減少や節水機器の普及などにより水需要が減少傾向にある一方で、老朽化した水道施設や水道管の更新、耐震化は喫緊の課題であり、経営状況の変動も見込まれますが、安全でおいしい水を安定的に供給するために、健全な経営環境の維持に努めます。

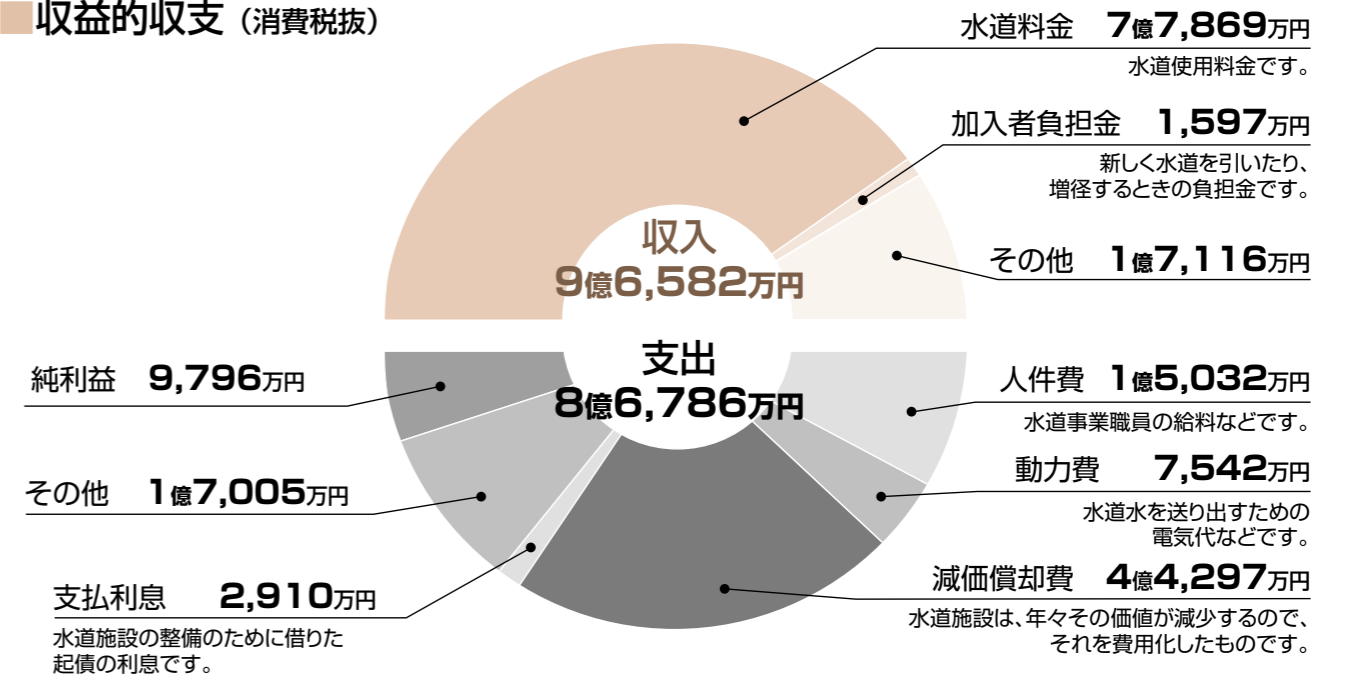
業務の状況

平成29年度の給水状況は、給水人口が48,177人（普及率100%）、給水件数が22,519件で、総給水量は11,752千 m^3 となりました。総配水量に占める有収率は95.8%で、給水原価は72.5円/ m^3 、供給単価は66.3円/ m^3 となりました。また、北野中浄水場の耐震補強工事や播磨台配水池の整備工事を実施するなど水道施設の整備を行うとともに、老朽化した水道管の改良工事などを行いました。

経理の状況

経営の状況を表す収益的収支は、総収益が965,820,060円、総費用が867,863,776円で、97,956,284円の純利益となりました。

収益的収支（消費税抜）



漏水にご注意を

水道の使用水量が前回と比べて急に多くなった場合は、漏水をしていることが考えられます。

家屋内の蛇口等を全部閉めてもメーターのパイロットが回っているようでしたら、漏水の可能性がります。すみやかに赤穂市指定給水装置工事業者に依頼して修理してください。

水道メーターの検針にご協力を

市では2ヵ月ごとに水道メーターの検針をしています。次のことについて、皆さまのご協力をお願いします。

- 水道メーターボックスの上には、自動車や物を置かないでください。
- 水道メーターボックスの中は、いつもきれいにしておいてください。
- 犬は、出入口や水道メーターボックスから離してつないでください。

水道使用水量等のお知らせ

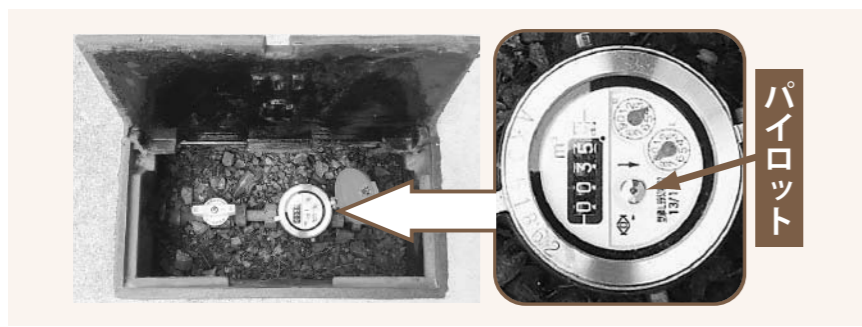
2ヵ月ごとに検針をして「水道使用水量等のお知らせ」を各戸に通知しています。

- ① 今回の使用水量
- ② 今回請求予定金額と納付（振替）予定日
- ③ 水道料金と下水道使用料（又は排水処理施設使用料）
- ④ 前回分口座振替内容
- ⑤ 通信欄と裏面でお願事項等をお知らせしています。

水道料金等の納付は便利な口座振替を

水道料金は下水道使用料（又は排水処理施設使用料）とともに2ヵ月ごとにいただいています。納入期日は検針の翌月25日でその日が金融機関の営業日でない日はその翌日。

納入期日を忘れたり、お支払いに向くなどの手間が省ける便利な口座振替を是非ご利用ください。



196項目の検査で安全な水を安定的に 平成29年度の水質水質

平成29年度の水質検査の結果は、次のとおりで、すべて水質基準値を満たしています。また、これら水質基準項目(51項目)に加え、目標設定項目26項目(うち1項目は農薬120項目)の検査を随時行い、より安全で良質な水を安定的に供給しています。

給水栓水質測定結果（平成29年度平均値）

「<」は定量限界未満

番号	検査項目	基準値等	北部水源系給水栓	南部水源系給水栓	備考
1	一般細菌	100個/ml以下	0	0	病原微生物
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	<0.0003	<0.0003	
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	<0.00005	<0.00005	
5	セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	重金属
6	鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
8	六価クロム化合物	0.05mg/l以下	<0.005	<0.005	
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	<0.004	<0.004	
10	シアニドイオン及び塩化シアニド	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	1.79	0.78	無機物
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.11	0.10	
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.02	0.01	
14	四塩化炭素	0.002mg/l以下	<0.0002	<0.0002	
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	<0.005	<0.005	
16	ジス-1,2-ジクロロエチレン-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	<0.001	<0.001	有機物
17	ジクロロメタン	0.02mg/l以下	<0.001	<0.001	
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
20	ベンゼン	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
21	塩素酸	0.6mg/l以下	<0.06	<0.06	
22	クロロ酢酸	0.02mg/l以下	<0.002	<0.002	
23	クロロホルム	0.06mg/l以下	<0.001	0.001	
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	<0.003	<0.003	
25	ジブromクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.002	消毒副生成物
26	臭素酸	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
27	総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.003	0.005	
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	<0.003	<0.003	
29	プロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	<0.001	0.001	
30	プロモホルム	0.09mg/l以下	0.001	<0.001	
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	<0.008	<0.008	
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	<0.01	<0.01	
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	<0.01	0.02	着色
34	鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	<0.01	<0.01	
35	銅及びその化合物	1.0mg/l以下	<0.01	<0.01	
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	7.2	6.3	味
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	<0.005	<0.005	着色
38	塩化物イオン	200mg/l以下	11	6.8	
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/l以下	69.8	55.7	味
40	蒸発残留物	500mg/l以下	120	91	
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	<0.02	<0.02	発泡
42	ジェオスミン	0.00001mg/l以下	<0.000001	<0.000001	
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	<0.000001	<0.000001	カビ臭
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	<0.005	<0.005	発泡
45	フェノール類	0.005mg/l以下	<0.0005	<0.0005	臭気
46	有機物（全有機炭素）	3mg/l以下	0.3	0.4	味
47	pH値	5.8以上8.6以下	7.2	6.9	
48	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	基礎的性状
49	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	
50	色度	5度以下	<0.5	<0.5	
51	濁度	2度以下	<0.1	<0.1	

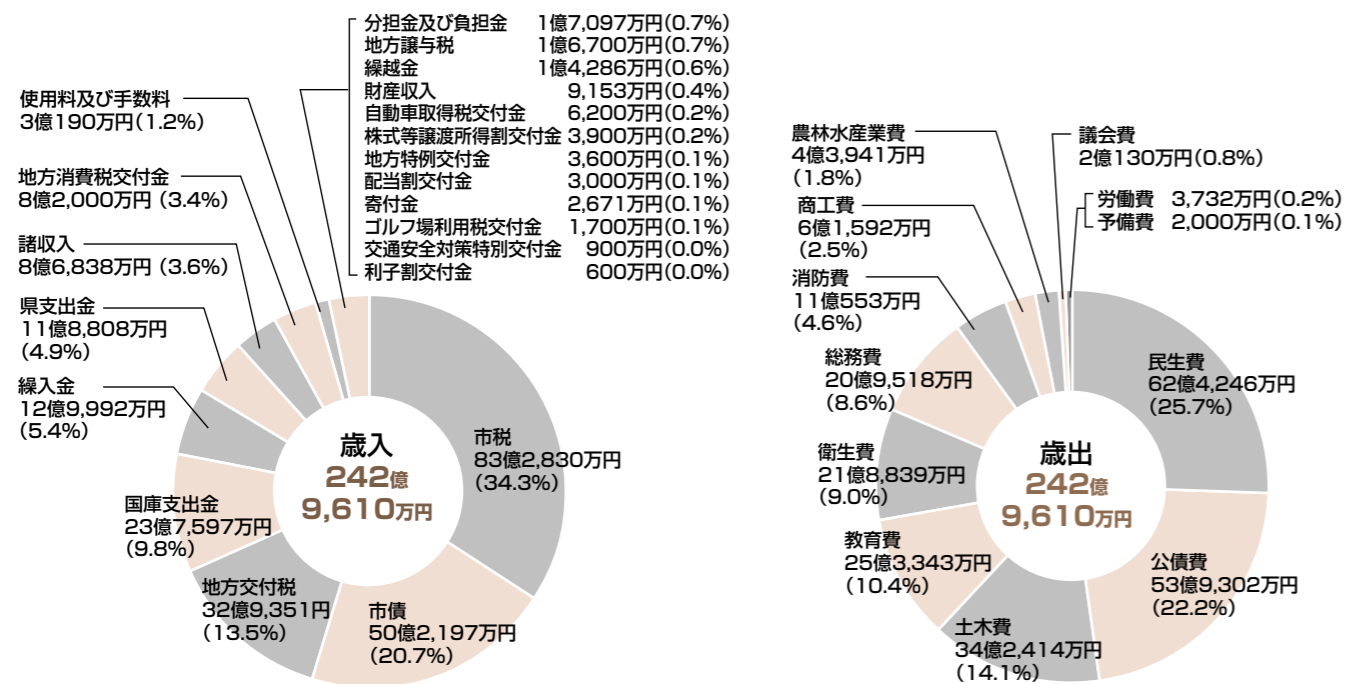
北部水源系給水栓：有年地区（採水場所：西有年、有年原地区）
南部水源系給水栓：有年地区以外（採水場所：周世、坂越、福浦、御崎地区）

平成30年度予算 上半期の状況

9月補正予算までに、平成29年度へ予算の前倒しを行った事業について5億9,650万円を減額したほか、ごみ処理施設整備事業に1,510万円、学校施設安全対策事業に2,320万円などを計上しました。これにより特別会計、企業会計を合わせた9月補正後の平成30年度予算総額は、当初より1億5,452万円増加し、554億7,986万円となっています。



一般会計予算の内訳 (9月補正後)



各会計別予算状況

会計区分	平成30年度 当初予算額	9月補正まで	平成30年度 現計予算額
一般会計	245億 1,000万円	△2億 1,390万円	242億 9,610万円
特別会計	53億 3,000万円	2億 6,783万円	55億 9,783万円
国民健康保険事業	53億 3,000万円	2億 6,783万円	55億 9,783万円
職員退職手当管理	5億 3,610万円		5億 3,610万円
別当	980万円		980万円
墓地公園整備事業	980万円		980万円
介護保険	42億 6,420万円	1億 59万円	43億 6,479万円
会	1億 3,780万円		1億 3,780万円
駐車場事業	1億 3,780万円		1億 3,780万円
後期高齢者医療保険	7億 3,420万円		7億 3,420万円
計	110億 1,210万円	3億 6,842万円	113億 8,052万円
病院事業	119億 4,567万円		119億 4,567万円
企業会計	4億 2,030万円		4億 2,030万円
介護老人保健施設事業	4億 2,030万円		4億 2,030万円
水道事業	19億 5,568万円		19億 5,568万円
下水道事業	54億 8,159万円		54億 8,159万円
小計	198億 324万円		198億 324万円
合計	553億 2,534万円	1億 5,452万円	554億 7,986万円

介護老人保健 施設事業の決算

問い合わせ先
介護老人保健施設 ☎42・1005

業務の状況

平成29年度の入所利用者につきましては、長期利用者が379人増加し、短期利用者が349人減少したため、前年度に比べて利用者数は30人増加しました。

通所利用者につきましては、介護と予防の混在利用や施設外リハビリ等の導入により、前年度に比べて利用者数は470人増加しました。

結果として、平成29年度の入所利用者数は延15,881人(一日平均43.5人)、通所利用者数は延5,360人(一日平均22.0人)となりました。

また、施設機能を活かした地域貢献活動として、認知症カフェや家族会を開催しました。

経理の状況

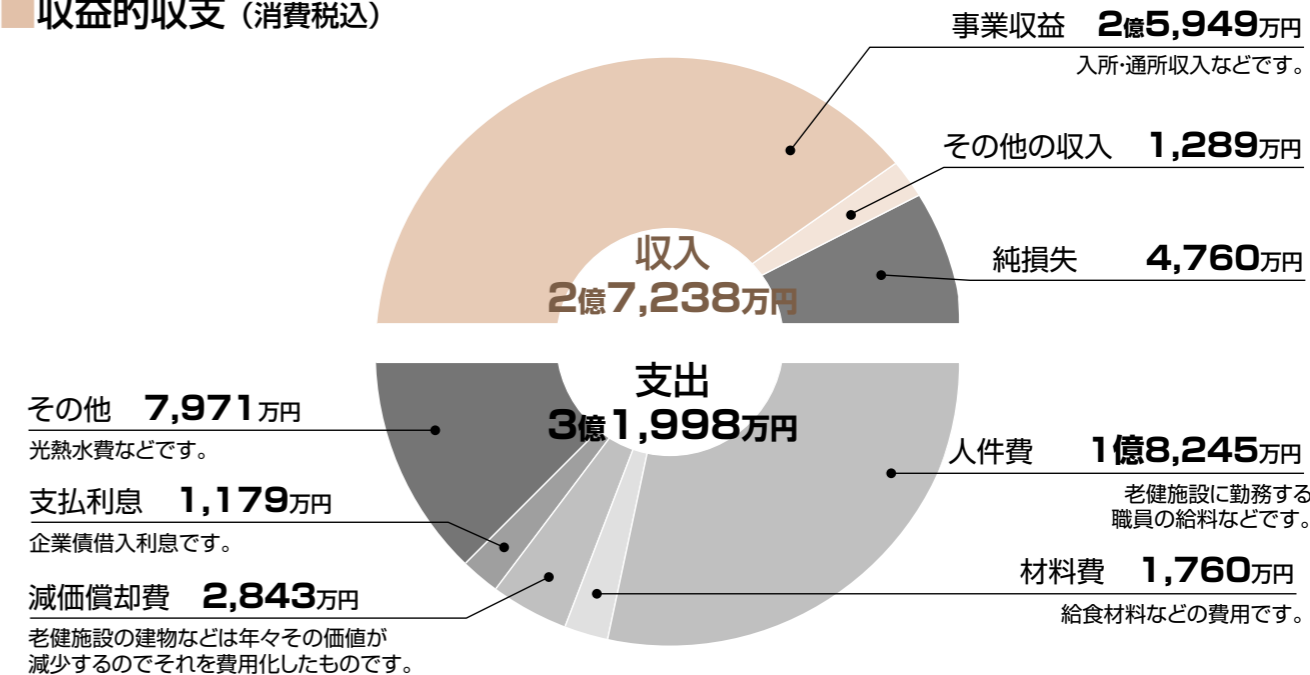
経営状況を表す収益的収支については、総収益272,385,024円、総費用319,979,631円となり、48,695,736円の純損失となりました。

資本的収支は、収入総額42,608,128円、支出総額42,946,168円となり、差引不足額338,040円は内部留保資金で補てんしました。

今後の老健施設運営

介護老人保健施設の目的である「在宅復帰、在宅療養支援」の機能を果たすため、利用者一人ひとりの目標に沿ったサービスの提供と質の向上に努め、利用効率を高めるとともに、施設従事者の体制確保や経費の見直し等経営の改善に取り組んでまいります。

収益的収支 (消費税込)



利用者の状況

(単位：人)

区分	延利用者数		一日平均利用者数
	長期	短期	
入所	13,963	1,918	38.3
通所	5,360		22.0
計	15,881		43.5



写真で見る決算

赤穂国際音楽祭開催事業



一般財源ほか
1,037万円

事業費**1,037**万円

世界の第一線で活躍する演奏家による室内楽コンサートを開催することで、赤穂市の名を国内外に発信し、交流人口を増やすとともに、地域の活性化に寄与しています。

子育て情報携帯システム事業



一般財源
208万円

事業費**208**万円

携帯等モバイルサイトを活用し、子育て関連イベントや予防接種等の情報を発信する、子育て支援総合情報サイトを構築、運営しました。

定住支援推進事業



一般財源ほか
5,637万円

事業費**5,637**万円

新婚世帯への家賃助成や転入世帯・若者世帯への住宅取得支援を継続するとともに、お試し暮らし住宅事業や移住体験バスツアーを実施し、さらなる定住促進に取り組んでいます。

坂越駅周辺地区都市再生整備事業



一般財源
1,114万円

市 債
6,550万円

事業費**1億64**万円

駅周辺の道路整備と合わせ、駅の利便性向上のための駐車場の整備や、レンタサイクルの整備により、歴史的な街並みを活かした観光振興を推進しました。

国庫支出金
2,400万円

有年駅周辺地区都市再生整備事業



一般財源
2,026万円

市 債
1億7,380万円

事業費**4億2,546**万円

国庫支出金
2億3,140万円

都市機能の充実を図るため、駅周辺の道路や駅北広場のモニュメント時計、トイレ等の駅周辺設備を整備し、快適な居住空間の構築を図りました。

第3子いきいき子育て応援事業



一般財源
502万円

事業費**502**万円

3人以上の子どもを養育する保護者に、出産祝金並びに小・中学校の入学祝金を支給することにより、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図っています。

防災備蓄倉庫整備事業



一般財源
1,051万円

市 債
490万円

事業費**2,111**万円

国庫支出金
570万円

災害時に避難所となる小・中学校などに新たに防災備蓄倉庫を整備し、防災施設の充実強化に努めています。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくります。